



平成31年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月6日

上場会社名 株式会社 エーアイティー

上場取引所 東

コード番号 9381 URL <http://www.ait-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・経理財務部担当 (氏名) 西村 司

TEL 06-6260-3450

四半期報告書提出予定日 平成30年7月17日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	6,230	3.6	299	22.4	280	31.9	194	31.2
30年2月期第1四半期	6,011	18.6	385	17.5	412	17.9	282	27.8

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 144百万円 (36.8%) 30年2月期第1四半期 227百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	10.18	
30年2月期第1四半期	14.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	7,475	5,391	71.8
30年2月期	7,654	5,610	72.9

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 5,366百万円 30年2月期 5,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		16.00		19.00	35.00
31年2月期					
31年2月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,890	16.4	730	3.3	770	0.8	540	4.6	28.25
通期	28,500	13.5	1,550	3.5	1,610	1.4	1,150	4.5	60.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	19,754,400 株	30年2月期	19,754,400 株
期末自己株式数	31年2月期1Q	640,829 株	30年2月期	640,829 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期1Q	19,113,571 株	30年2月期1Q	19,113,620 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が進む中、個人消費も持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら、海外での政治や経済における不確実性の高まりなどから、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、国際貨物輸送のみならず通関や配送等まで一貫した受注の拡大を図るべく、顧客のニーズに沿った国際物流の提案型営業を推進し、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕に注力してまいりました。

さらにこれら営業活動は、当社グループが得意とするアパレルや日用雑貨を取扱う企業に留まらず、未だ取扱いの少ない業種へも拡げてまいりました。

前述の取り組みにより、大口顧客を中心に取引は拡大基調で推移しておりますが、一方で大口顧客の利幅が薄いことに加えて通関業務の外注増加もあって、売上総利益率は前年同期と比較して低下することとなりました。

また、例年2月は春節の影響から一時的に貨物の取扱いが減少し、その後徐々に荷動きは正常に戻りますが、本年は春節の時期が2月中旬と前年と比較しても遅かったことから、当第1四半期連結累計期間では、期間の開始となる3月にその影響が残ることとなりました。

これにより、3月前半の荷動きは鈍化することとなりましたが、4月以降は影響無く収益拡大に向けての営業強化が奏功して、国際貨物の取扱い及び通関受注等は増加しております。しかしながら、3月前半の一時的な貨物の減少が響き、累計期間の営業収益の伸びは弱く、また販売費及び一般管理費の増加もあり、営業利益以下の各段階利益は前年同期を下回ることとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は6,230百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益299百万円（前年同期比22.4%減）、経常利益280百万円（前年同期比31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益194百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間では、一貫輸送の更なる受注拡大に向けて精力的に営業活動を展開してまいりましたが、春節の影響から3月前半において、一時的に中国から日本への輸入貨物が減少することとなりました。

4月以降においては、前年同月を上回る貨物の取扱いを記録しておりますが、3月前半の一時的な減少を補うまでには至らず、その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で49,519TEU（前年同期比2.9%減）、輸出入合計で52,570TEU（前年同期比1.0%減）、通関受注件数は21,235件（前年同期比2.5%減）と前年同期を僅かに下回ることとなりました。

このような中、海上輸送を中心に運賃の価格改善を図るべく価格転嫁等にも取り組んだことが収益を押し上げる要因となり、貨物量の減少による収益の低下を補うこととなりました。

以上のことから、日本における営業収益は5,132百万円（前年同期比1.4%増）となりましたが、セグメント利益は、主に売上総利益の低下及び販売費及び一般管理費の増加の影響から199百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

②中国

中国、香港法人との2ヶ月の決算日の違いから、本年1月、2月で日本向け貨物や中国国内での輸送に関連する収益機会が増加し、加えて人民元高もあり円貨換算額が増したことで、営業収益は970百万円（前年同期比4.6%増）と前年同期を上回ることとなりました。一方でセグメント利益は、営業費用の増加により98百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

③タイ

日本向け貨物は増加基調にあります。その絶対量が少ないことから、営業収益は21百万円（前年同期比19.6%増）となり、一方で営業活動における費用が高んだ結果、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

④その他

米国、台湾現地法人及びベトナム合弁会社それぞれが四半期連結累計期間においてフルに営業活動を行い、徐々に貨物の取扱いも増してきておりますが、貨物量としてはまだ少ないことから、営業収益への貢献は僅かに留まったことで、営業収益は105百万円（前年同期は営業収益2百万円）、セグメント利益は2百万円（前年同期はセグメント損失10百万円）となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ179百万円減少し7,475百万円となりました。これは主に、現金及び預金が128百万円、立替金が86百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が42百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し2,084百万円となりました。これは主に、買掛金が40百万円、流動負債のその他が112百万円増加した一方で、未払法人税等が111百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ219百万円減少し5,391百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益194百万円を計上した一方で、剰余金の配当により363百万円、為替換算調整勘定が47百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年4月11日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,434,299	4,305,829
受取手形及び売掛金	1,799,606	1,842,344
立替金	954,508	867,965
その他	158,757	171,493
貸倒引当金	△19,899	△20,324
流動資産合計	7,327,273	7,167,308
固定資産		
有形固定資産	41,584	39,742
無形固定資産	52,704	47,347
投資その他の資産		
投資有価証券	2,904	3,138
差入保証金	225,532	217,771
その他	5,166	232
貸倒引当金	△238	△232
投資その他の資産合計	233,364	220,909
固定資産合計	327,652	307,999
資産合計	7,654,926	7,475,307
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,061,969	1,102,433
未払法人税等	229,140	117,699
賞与引当金	69,233	69,489
役員賞与引当金	16,800	4,750
その他	254,539	366,845
流動負債合計	1,631,682	1,661,217
固定負債		
退職給付に係る負債	268,535	275,077
役員退職慰労引当金	77,670	81,807
その他	66,955	66,164
固定負債合計	413,160	423,049
負債合計	2,044,842	2,084,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,920,476	4,751,838
自己株式	△68,004	△68,004
株主資本合計	5,345,203	5,176,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	190
繰延ヘッジ損益	-	△268
為替換算調整勘定	237,880	190,099
その他の包括利益累計額合計	237,907	190,020
非支配株主持分	26,972	24,455
純資産合計	5,610,083	5,391,041
負債純資産合計	7,654,926	7,475,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
営業収益		
輸送事業収入	6,011,106	6,230,070
営業収益合計	6,011,106	6,230,070
営業原価		
輸送事業仕入	4,673,411	4,930,142
営業原価合計	4,673,411	4,930,142
売上総利益	1,337,695	1,299,927
販売費及び一般管理費	951,903	1,000,508
営業利益	385,792	299,419
営業外収益		
受取利息	4,102	1,988
受取配当金	29	29
為替差益	12,593	-
その他	12,230	7,568
営業外収益合計	28,955	9,587
営業外費用		
会員権退会損	2,700	-
為替差損	-	28,567
営業外費用合計	2,700	28,567
経常利益	412,047	280,438
特別損失		
固定資産除却損	86	349
特別損失合計	86	349
税金等調整前四半期純利益	411,961	280,089
法人税、住民税及び事業税	189,316	102,769
法人税等調整額	△58,712	△16,236
法人税等合計	130,603	86,533
四半期純利益	281,357	193,556
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,517	△963
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,875	194,519

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	281,357	193,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	162
繰延ヘッジ損益	179	△268
為替換算調整勘定	△53,702	△49,334
その他の包括利益合計	△53,383	△49,440
四半期包括利益	227,974	144,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,441	146,632
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,466	△2,516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	5,062,597	927,669	18,325	6,008,592	2,514	6,011,106	—	6,011,106
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	20,429	561,475	6,643	588,548	9,131	597,679	△597,679	—
計	5,083,026	1,489,145	24,968	6,597,140	11,645	6,608,786	△597,679	6,011,106
セグメント利益 又は損失 (△)	295,543	103,313	△2,889	395,967	△10,175	385,792	—	385,792

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾及びベトナムの現地法人です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	5,132,247	970,034	21,925	6,124,206	105,864	6,230,070	—	6,230,070
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	47,739	569,999	7,371	625,110	58,293	683,403	△683,403	—
計	5,179,987	1,540,033	29,296	6,749,316	164,157	6,913,473	△683,403	6,230,070
セグメント利益 又は損失 (△)	199,613	98,381	△1,521	296,472	2,946	299,419	—	299,419

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾及びベトナムの現地法人です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。